ロータリーに輝きを

Weekly

尾張旭ロータリークラブ

集まろう・語ろう 楽しもう

・会　長　古橋　裕志　・幹 事　仲澤　昌容　・クラブ会報　福岡　健
・例会日　毎週金曜日 12:30　・例会場　〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3
・事務局　尾張旭市商工会館　TEL 0561-54-1263　FAX　0561-54-8945
E-mail：jimu@owariasahi-rc.org　URL：http://www.owariasahi-rc.org

本　日　第2143回　2015年3月13日（金）　No. 2029

本日のプログラム　Today's Program

点　　鐘

ロータリーソング　「それでこそロータリー」

卓話担当者：山田　直樹君

卓話者：地区国際奉仕委員会

委員　山田　拓君（瀬戸RC）

演　題：「　識字率と国際奉仕委員会の活動　」

前　回　第2142回　2015年3月6日（金）　記　録

○斉　唱：「君が代」・「奉仕の理想」・「春よこい」
職業奉仕委員会「四つのテスト」唱和

出席者：会員24名中20名出席　出席率83.33%
前々回補正出席率　２月20日分95.83%

会長あいさつ　古橋　裕志

識字率向上は1986年以来、国際ロータリーの強調事項で読み、書き、計算のできない人たちを援助するためロータリー地域社会共同体、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、世界社会奉仕等が、プログラムを通じて識字率向上に取り組んでいます。

ユネスコによりますと、世界で９億人以上の人々が読み書きが出来ず、とりわけ３分の２は女性で成人、子供に向けて学校に本を寄贈、地元の図書館を援助することが、要請されています。

昨年のノーベル平和賞を受賞されました、マララさんも子供たちに「本とペン」を訴えているように、教育に恵まれない子供たちに手をさしのべることも奉仕の一環だと思います。識字率向上は教育、文化、国の発展に必要不可欠な事項で、中東アジア、中央アフリカその他の地域紛争を、この一部要因では。

日本の識字率は江戸時代により世界最高の水準で有名ですが、これらは古来より日本の文字は漢字、ひらがな、カタカナ、ローマ字等の４種類の文字を使い分ける、日本人の勤勉さと、儒教の流れではないかと私は思います。

日本古来の学校は室町時代の足利市の足利学校、庶民教育の場として、岡山県の旧閑谷学校、水戸の弘道館、東京の湯島聖堂等その他多くあり、また庶民たちの寺子屋等、小さい時からの教育が行く届いた内容ではないでしょうか。これらの下地が幕末から明治維新の原動力となり、欧米烈強に負けない近代国家へと生まれたいと思います。

教育はその国の発展させ、高度な文明を維持、生み出す最大のエネルギーだと思います。

教えありて　類なし（教育こそ社会を良くする原点）
「論語より」

幹事報告

・本日の会合：第１２回現・次期理事役員会
・例会変更のお知らせ：掲示板をご覧ください。

おめでとう

○結婚記念日祝福：

３月　６日　森井　晴生君
３月１６日　西尾　輝久君
３月１８日　古橋エツ子君
３月３０日　井田　武憲君

○誕生日祝福：

３月　４日　仲澤　昌容君ご夫人　敦子様
３月　５日　森井　晴生君
３月　９日　金森　俊輔君
３月１３日　西尾　輝久君ご夫人　淑子様
３月１５日　古橋エツ子君ご主人　勝久様
３月３０日　小柳　和之君ご夫人　ミエ様

世界理解月間

	３月２２日（日）	３月２７日（金）	４月　３日（金）	４月１０日（金）
例会予定	20日（金）振替 東尾張分区 インターシティミーティング 12RC合同例会 於ウェスティンナゴヤキャッスル 13:30　受付　14:00開会	卓話担当者：菊田利昭君 卓話者：　〃 演題：「相続の注意点」	卓話担当者：クラブ会報委員会 卓話者：福岡　健クラブ会報委員長 演題：「クラブ会報の編集について（勉強会）」	卓話担当者：プログラム委員会 卓話者：森井晴生君 演題：「雑誌月間に因んで」

△結婚記念日の会員

△誕生日祝福の会員

ニコボックス

○結婚記念日を祝っていただき。　井田　武憲君
　西尾　輝久君、古橋エツ子君、森井　晴生君
○誕生日を祝っていただき　森井　晴生君
○家内の誕生日を祝っていただき
　小柳　和之君、仲澤　昌容君、西尾　輝久君
○主人の誕生日を祝っていただき。　古橋エツ子君
○古橋エツ子さんの卓話を楽しみにしています。
　浅野　善吉君、加藤　清久君、桜井　雅博君
○３分間スピーチでお耳をけがします。飯田　幸雄君
○三寒四温、この言葉通り、毎日温度の差が激しく体調に気をつけて下さい。　古橋　裕志君
○今日また４時から仕事しました。いねむりしないように話を聞きます。　江尻　豪君
○啓蟄の候　皆さんお元気で。　加藤　清久君
○お忙しの君　髙島　昇君

第12回現・次期理事役員会報告

日　時　平成27年３月６日（金）13:35～
場　所　尾張旭市商工会館内　第一会議室
議　題　１）春の家族会について
　（加藤清久親睦活動委員長）
　原案通り承認された。
　２）次年度プログラム（案）と予算（案）について　（森井副幹事）
　５月現・次期理事会において最終提出する
　３）45周年実行委員会について
　（森井副幹事）
　委員長　箕輪　良孝君に委任された。
　４）尾張旭緑化推進基金の協力について
　（古橋裕志会長）
　昨年同様見送りに決定。
　５）2/2　中日新聞広告（宣通）（仲澤幹事）
　見送りに決定。

卓　話

「ＯＦＤＹ月間に因んで」

委員長　古橋エツ子

ＲＣに入会後、ＯＦＤＹ委員会については、規程を読み委員会に出席して選考にかかわったりしましたが、今一つ理解できていない部分がありました。そこで、本クラブの先輩方から、ＯＦＤＹが設立された経緯や実施状況などを伺うことにいたしました。設立のきっかけは、1990-91年度（平成2年）青少年育成に関する会合の準備会が発足1991-92年度（平成3年）尾張旭ＲＣ創立20周年に育成基金の積み立てが始まりました。当時の発足名は尾張旭国際青少年育成基金です。2001-03年度　尾張旭ロータリークラブ国際・地域青少年育成基金として名称を変更「Rotary Club of Owariasahi Internatinal and Territory Fund for the development of Youths,」略称　ＯＦＤＹです。

1995-96年度　冨田会長の時に初めての通称「ＯＦＤＹ」の活動がスタートし、当時は厳しい社会、経済情勢、長期にわたる不景気と低金利政策のもとで金利運用を財源として活動する基金の目標を達成し、創立25周年記念事業の一環として、尾張旭市近郊の大学７校の留学生を募りましたところ、約30名程の応募がありました。　そして「留学生座談会」「留学生エッセイコンテストを催し、その活動の第一歩として歩み始めました。

1998年にＯＦＤＹ委員会として発足。

2001年-02年度　創立30周年には「尾張旭ＲＣ吹奏楽の集い」が催され、2002-03年度～2009年-10年まで、当クラブ主催の尾張旭市内の高校、中学校、小学校の参加に依る、「ヤングミュージックファェスタin尾張旭」を開催。

2012年-13年度は、尾張旭市立３中学校の合同演奏会の後援

2013-14年度の本年は名古屋経営短期大学（軽音楽部）旭野高校、西中学校の吹奏楽、尾張旭市合唱団の後援を行いました。また、長年にわたり、青少年交換留学生、米山奨学生の援助など、支援しています。

また、ＯＦＤＹ委員会の委員も増員されて選考の会議がされています。さらに、申請に関しては、奉仕部門の委員会からの提案・推薦、個人および団体からの申請書類の提出などによって受け付けています。運営については、（1）恒久寄付、（2）年次寄付の２種類となっており、恒久寄付はドル立てで通常の事業計画への出資はしません。毎年の事業計画に関する支出は、年次寄付の方を活用しています。具体的には、尾張旭市内の中学校、高校、大学・短大、児童合唱団などへの助成が中心となっています。今回は、クラブの先輩方からのお話を伺う良い機会であり、皆さんからの指摘や意見も伺うことができました。私自身が、一番勉強させていただけましたことを感謝しております。